



## 水の中を<sup>さぐ</sup>探る

### (その2) 川の植物

川の中の植物は、体を<sup>やわ</sup>柔らかくして流れに<sup>さか</sup>逆らわれないような<sup>すがた</sup>姿をしているものや、葉や茎に<sup>くき</sup>空気の部屋をつくって、水中に<sup>う</sup>浮きやすくしているものなどがあります。また、<sup>か</sup>金魚や<sup>すいそう</sup>メダカを飼った水槽に、水草を入れるのはなぜかを考えてみましょう。

#### 体が水中にあるもの

##### ■マツモ

川よどんだところや池に多く、「池の<sup>こい</sup>鯉」という歌の中にも出てきます。金魚ばちにもよく入れるので、キンギョモと<sup>よ</sup>呼んでいるところもあります。本当のキンギョモは別にあります。夏から秋にピンク色の小さな花が咲きます。



##### ■フサモ

名前のようにふさふさした感じの植物で、マツモと同じような場所に生えます。夏、小さな白い花が咲きます。



##### ■クロモ

少し流れのあるところに、<sup>むら</sup>群がって生えます。花は6～9月に咲き、日の当たるところで茎を切ると<sup>あわ</sup>プクプクと泡が出てきます。



##### ■エビモ

クロモと同じようなところに<sup>かく</sup>群がって、エビの<sup>が</sup>隠れ家になるといのでエビモという名がつけました。



#### 体の一部が水の上に出る植物

##### ■ミズオオバコ

<sup>あさ</sup>浅くて、<sup>どろ</sup>泥の多いところに生えます。茎がなく広い葉が水中に広がり、夏になると水の上<sup>の</sup>に伸びた花の柄の上に、白く少し<sup>むらさき</sup>紫がかかった花が咲きます。

